

## 令和4年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・海洋生物学コース「海洋生物多様性実習」		
実習内容	<p>佐渡島には、多様な海岸環境とそれに伴う様々な海洋生物の生態系が豊かな自然とともによく保存されている。また、潮位差の小さな日本海に位置する佐渡では、太平洋側と異なる磯生物の生態と分布様式を見ることができる。</p> <p>本実習では、全国的に見ても非常に高い透明度を誇る佐渡の豊かな海を利用し、磯でのシュノーケリングを始めとするさまざまな手法を用いて採集した生物を観察・スケッチ・同定するとともに、磯生物の生態分布調査などを行い、海洋生物の多様性とその進化について学ぶ。</p> <p>解散前に演習林および大野亀に立ち寄り、佐渡の特徴ある植生について学ぶ。</p> <p><u>海洋生物採集・観察</u>：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● シュノーケリングによる磯生物の観察・採集</li> <li>● たも網を用いた岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集</li> <li>● シャベルとふるいを用いた砂泥海岸での生物採集</li> <li>● 実習船によるプランクトンネットを用いたプランクトンおよび魚類仔稚魚の採集</li> <li>● ウミホタルの採集および生物発光観察</li> </ul> <p><u>生態調査</u>：方形枠を用いた磯生物の帯状分布の調査・データ解析</p> <p><u>発表会</u>：個人での磯生物についての発表、およびグループでの帯状分布調査結果発表</p> <p>* 対面型実習を基本とするが、新型コロナウイルス感染症の状況によって、対面型実習と非対面型実習（オンライン教材による実習）の併用となる場合がある。</p>		
実習内容キーワード	シュノーケリング、磯採集、種多様性、進化、形態、生態系		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、飯田碧（臨海実験所・准教授）、大森紹仁（臨海実験所・助教）、豊田賢治（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名	阿部晴恵（演習林・准教授）、古郡憲洋（演習林・特任助教）、他1名の外部講師を任用予定。		
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生（大学院生も可）	開講期間	2022年9月12日(月)～17日(土) 5泊6日
開講大学・施設名	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
施設の住所	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	http://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。直江津－小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港までの送迎を行う。		
費用	実習期間中の食費、寝具クリーニング代および雑費：約 12,000 円		
授業科目名	臨海実習 II		
単位数	2 単位	定員数	約 10 名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	原則として先着順。締め切り日は 2022 年 7 月 29 日（金）。		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する。		